



北海道教育美術展で入選

奨励賞を受賞。夢への第一歩。

全道各地の幼稚園・認定こども園・保育所、小学校、中学校の子どもたちの作品を集めた道内最大級の絵画作品展『第46回北海道教育美術展』で、トマム学校6年生の藤本このはさんが奨励賞を受賞しました。この美術展には2万点近い作品の応募があり、600点の入選作品、100点の奨励賞が選出されています。このはなさんは、「自分にとって楽しい思い出のあるお店を描いた。将来は絵を描く仕事がしたいので、夢への一歩になって嬉しい。」と受賞の喜びを語ってくれました。

トマムで森のようちえん

家庭教育や子育て、地域の保育を考える

2月16日（日）、トマム支所でトマム地区子育て世帯移住促進事業のモデル事業『トマムで森のようちえん 冬の体験会』が行われ、約40名が参加しました。今回は、子どもと大人と一緒に雪遊びや、そり滑りなどを楽しみました。このモデル事業は、『森のようちえん』の保育の考え方や、活動、自然の中での遊ばせ方などを、ご家庭での子育てや地区の保育、教育にどのように活かせるのかを検討するために行いました。



有光隊員が地域おこし協力隊としての任期を終えました

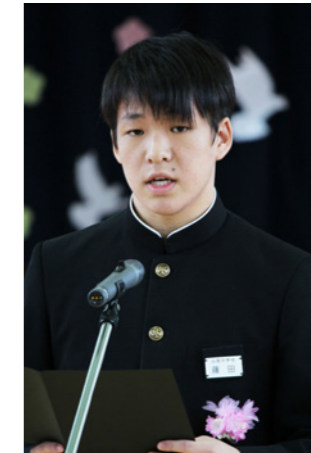
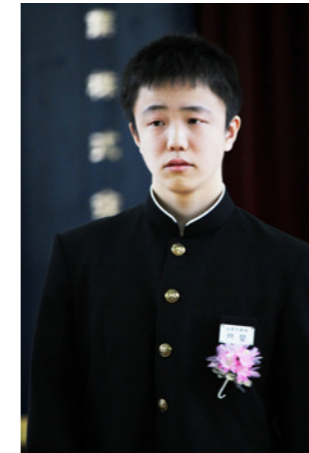
猟区のガイドや羊毛クラフト体験イベント等を通じて地域の活性化に尽力しました。

地域おこし協力隊として村で3年間様々な活動をしてきた有光良次さんと志穂さんご夫妻が、羊生産農家として下トマム地区に就農しました。良次さんは猟区のガイドや野生鳥獣対策業務に従事し、志穂さんは羊毛クラフト体験イベントを開催するなど、お二人は住民との親睦を図りながら地域に貢献してきました。「役場や農家の先輩方など、協力隊の活動を通じてつながることができた地域の方々の後押しがあったお

かげで、羊農家として就農することができました。多くの方々の協力、応援がなければ、夢は叶えられなかったと思います。私たちの夢はまだスタート地点であり、自立して長くやっていくことが村への恩返しになると思いますので、今後ともご指導ご協力のほど、よろしくお願いたします。」と、有光ご夫妻。今後は、農家を経営しながら体験イベント等の実施も考えているそうで、ますますの活躍が期待されます。

占冠中学校

あっという間の三年間。部活や勉強で時間がなくて大変だったと思いますが、その気力があれば大丈夫。高校でも、自分に自信を持って大きく羽ばたいていってください。ご卒業おめでとうございます。



占冠中央小学校

小さな体で大きなランドセルを背負っていたあの頃が懐かしいですね。小学校生活の6年間で、たくさんの経験をする事ができたのではないのでしょうか。6年間の『がんばり』は、皆さんの大きな土台となります。4月からは中学生。新しい環境でも、自分らしく元気に学校生活を楽しんでください。

